

# 神経内科専門医研修ネットワークプログラム

## 1 はじめに

静岡県では神経内科専門医の資格取得を目指す方を対象に、今まで各病院において個別に提供されていた後期研修をネットワーク化し、複数の病院での研修を提供しています。

それぞれの病院の特徴を活かした専門研修により、幅広いフィールドで診療技術を身につけることができます。

- ◎ 静岡県で専門医資格取得に向けての病院で充実した研修に取り組みませんか？
- ◎ 皆さんの研修希望に、静岡県の神経科学会認定指導医がお手伝いをします。
- ◎ ふじのくに地域医療支援センターに御相談ください。(研修実施に向けた調整を行います。)

**本プログラムは、オーダーメイド方式のプログラムです。研修（勤務）先病院については、プログラム責任者と面接し、個別のキャリア形成に応じて研修先の病院を決定します。**

プログラム責任者 静岡県立総合病院神経センター長、主任医長 原田 清

1957年に群馬県高崎市に生まれる。1981年に京都大学を卒業後、京都大学医学部附属病院で研修する。1982年に宇部興産中央病院に勤務する。1984年に京都大学大学院に入学する。1988年に大学院修了後、京都大学医学部附属病院神経内科に勤務する。1990年に静岡県立総合病院神経内科に副医長として着任し、神経内科部長を経て、現在は神経センター長を務めている。専門は神経内科一般。日本神経学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本内科学会認定医。



若い先生方のご希望がどこにあるのか、我々には分かりにくいところがありますが、これまでは一つの病院で行っていた研修を複数の病院で行うことによって、それぞれの病院の特徴や疾患を経験してもらおうということです。旧来のやり方である、一つの病院に2年ぐらい勤める研修と比べますと、得意にしている分野が少しずつ異なっている病院を回って研修する方が望ましいのではないかと考えました。最終的に登らなくてはいけない山の頂点は一緒ですが、登り方は色々あってもいいのではないのでしょうか。

後期研修3年目で受験資格を得られるような症例数はきちんと確保できます。プログラム参加は12病院とかなり多く、どの病院も地域にとってなくてはならない病院です。専門医試験に合格するような研修を進めていけることでしょう。

研修医の教育では、研修医をどの方向に伸ばしていくかということを考えています。多少は暴走気味であっても、きちんと修正しますので、積極的に取り組んでいただきたいです。技術は徐々に身に付きますので、患者さんを大事にする心を養ってほしいです。

静岡県ではこのほど10病院が集まってネットワークを作り、後期研修を支援していくことになりました。この12病院の中での1つの病院での研修もできますが、複数の病院をローテーションしていくことも可能です。熱意のある初期研修医のご参加を皆でお待ちしています。是非、静岡県で後期研修を始めてください。

## 2 目的

卒後6年で日本神経学会専門医を取得することを目的にします。

特に、臨床神経学の基本である神経学的診察、神経学的検査に精通すること、また治療計画を立てて実施できることを目指します。

## 3 目標

日本神経学会で定められている目標症例を経験できるように、それぞれの病院の特徴を生かして研修します。研修では神経疾患全般にわたる症例数を増やして臨床神経学の研鑽を深めるように指導します。

## 4 研修カリキュラム

日本神経学会の専門医研修条件に準じます。原則的には、1年を単位に2つ以上の病院での研修を行います。

本神経学会の専門医受験の要件は、1) 卒後6年以上の臨床研修を終了していること、2) 日本神経学会の定める教育施設で3年以上、教育施設で2年以上かつ准教育施設を含めて3年以上、教育施設で2年以上かつ准教育施設・教育関連施設を含めて4年以上(准教育施設のみでの4年間を含む)の研修を終了すること、3) 日本神経学会会員歴が3年以上あること、4) 日本内科学会認定医を取得していること、です。

## 5 研修プログラムの決定

まずは静岡県の窓口でご相談ください。それぞれの病院のプロフィールなどはサイトでもご覧いただけます。その後、プログラム責任者が、研修10病院の中から複数病院において、どの病院で何カ月間、研修するのかといったことを決めていくオーダーメイド方式です。

## 6 研修者の要件及び処遇

募集人数：勤務先病院との調整による

処遇：研修を受ける病院の医師処遇による。

## 7 研修終了後の進路

確たるシステムはありませんが、ご希望に合わせてバックアップいたします。また、回った病院の中から勤務先を決めて、常勤医師としてスタッフになることも可能です。

静岡県の医師は出身大学がばらばらで、面白い土地柄であり県内に勤務する選択もありますが、大学に戻るといった場合もサポートします。

## 8 研修病院群

小尾 智一 静岡てんかん・神経医療センター 神経内科医長 日本神経科学会認定指導医

静岡市は、脳血管障害を中心として診療している病院や当院のように変性疾患を中心として診療している病院など、特色をもった病院があります。こういった病院を順に研修することで、神経内科医として幅広い知識と技術を身につけることができると思います。

当院は、神経難病を中心に診療を行なっていますが、認知症学会の教育施設にも認定されており、認知症診療も合わせて研修ができます。さらに、当院のてんかん診療グループは、国際レベルの診療を行なっています。神経難病とともにてんかん学の研修を行なうことができます。



原田 清 静岡県立総合病院 神経センター長 日本神経学会認定指導医  
金 剛 静岡県立総合病院 神経センター医長 日本神経学会認定指導医  
吉田 英史 静岡県立総合病院 神経センター医長 日本神経学会認定指導医

当院では神経疾患領域を幅広くカバーする研修を旨としています。初期研修で身につけた臨床的スキルの実践と発展を通して、内科的素養をもとに神経疾患領域を幅広くカバーできる医師を養成することを目標としています。その結果として神経内科あるいは脳卒中専門医の資格を取得することをめざしています。神経内科領域はやりがいのある分野です。一つの病院でじっくり研修することもできますし、いろいろな病院を短期間に経験するのも御利用ください。



畑 隆志 静岡市立清水病院 副病院長 日本神経科学会認定指導医

当院の神経内科後期研修は、超急性期からリハビリテーション・地域医療をカバーできるような、幅広い知識と良質な診療技術を獲得することを目標にしています。市中病院ですので脳血管障害、感染症、頭痛・めまいあるいは認知症などいわゆるcommon diseasesの診療が主になりますが、神経変性疾患や末梢神経・筋疾患などの症例も少なくありません。また急性期病棟だけでなく回復期リハ病棟も併設していますので、神経疾患の幅広い病期を実体験することができます。

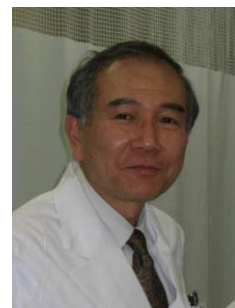


スタッフは4人ですがすべて神経内科専門医で、そのほかに脳卒中専門医、頭痛専門医、認知症専門医、リハビリテーション専門医の資格を有する者もいて、これらの学会の教育指定病院になっており、専門医資格の取得が可能です。実際当院で初期研修・後期研修を行った2名の医師が専門医試験に合格して、現在当院のスタッフとして活躍中で、第2、第3の専門医資格取得に向け勉強中です。

明るくて、健康で、やる気のある方であれば大歓迎です。専門医資格を得られるまで必ず指導させていただきます。出身校や、経歴、年齢にこだわらず、神経学に対して限りない好奇心をお持ちの方でしたらご応募ください。当院の研修プログラムに満足していただければと思います。

小張 昌宏 静岡赤十字病院 副院長 日本神経科学会認定指導医

私は当院の神経内科プログラム責任者であると同時に、内科プログラム責任者と救命救急センター長を兼ねています。当院の神経内科プログラムは柔軟性に富んでおり、例えばある期間、救急医療の勉強をしたい、総合内科診療に携わりたい、といった希望にも添うことができます。これは、ほどよい規模の病院（517床）の特色ともいえます。当院は症例の多い忙しい病院ですが、皆さんの勤務が単純労働にならず、実のある研修となるよう配慮しています。早く一人前の神経内科医になりたい方は、ぜひ応募してください。



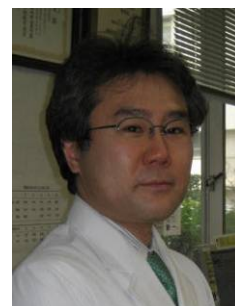
**芹澤 正博 静岡赤十字病院 第一神経内科部長 日本神経科学会認定指導医**

当院は静岡市街の中心に位置する総合病院です。救命救急センターを有し、神経内科では脳卒中をはじめとした急性期疾患が入院診療の中心になりますが、パーキンソン病や脊髄小脳変性症をはじめ神経変性疾患など慢性疾患も外来で数多く診療しています。日本神経学会指導医4名を含む日本神経学会専門医5名を有し、各学会専門医（日本神経学会専門医、日本脳卒中学会専門医、日本頭痛学会専門医など）の取得も可能です。一緒に静岡県の神経内科医療を担う有志をお待ちしています。



**今井 昇 静岡赤十字病院 第二神経内科部長 日本神経科学会認定指導医**

当院では一般・救急外来より神経難病からcommon diseaseまで幅の広い症例が多く、質・量ともに豊富な経験を積むことができます。更に5名の神経内科専門医が参加するカンファレンスを通じて診断・治療の能力を高めることができます。また学会発表や論文作成を通じて、最新の知識の身の着け方や発表の仕方を学ぶことができます。希望者には国際学会での発表や英語論文作成の指導も行っています。神経内科専門医に求められているような患者に遭遇しても沈着・冷静に的確な判断・診療の出来る医師になりたい方、当院で研修しませんか。



**吉井 仁 静岡済生会総合病院 副院長兼神経内科部長 日本神経科学会認定指導医**

当院は昭和23年の設立以来60年余りの歴史があり、昭和55年には静岡県で最初の救命救急センターを設立するなど、静岡市における中核病院としての役割を果たしております。

治る神経内科を目標としておりますので是非学びに来てください。



**鈴木 康弘 静岡済生会総合病院 神経内科部長 日本神経科学会認定指導医**

神経疾患は一昔前まで原因も不明で、治療法もありませんでした。

分子生物学などの進歩により、次々と病気の原因が判明し、治療法も開発されつつあります。

ともに学びましょう。よろしければ静岡で。



酒井 直樹 焼津市立総合病院 医務部長 日本神経科学会認定指導医  
鈴木 洋司 焼津市立総合病院 脳神経疾患センター長 日本神経科学会認定指導医

当院は基本的に焼津市民のための病院です。当院の内科医が少ないこと、志太榛原地区の神経内科医が少ないことが重なって、3人で年間600例の入院患者さんをみています。神経内科研修は、当院を選択してくれた先生の希望に添う形で実践を積んでもらうことが可能です。当院の特徴を活かして、さらに他の静岡・浜松の病院の特徴も活かして研修していただけたら素晴らしいと思います。私たちはこのプログラムに期待しています。最後に焼津は生活するのに素晴らしい環境です。3人とも他県出身です。あなたもすぐにとりこになることでしょう。ぜひお越しください。



酒井 直樹

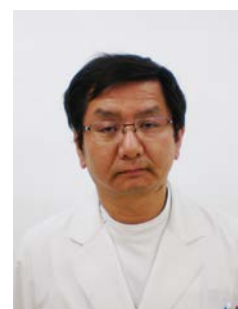


鈴木 洋司

若井 正一 中東遠総合医療センター 副院長

当院は、平成25年5月に開院しました。従来の、掛川市立病院と袋井市民病院が統合されて新病院として開院の予定です。神経疾患全般にわたる診療を行うとともに、睡眠医療の専門医、専門技師が常勤しており、幅広い睡眠疾患(ナルコレプシーなどSAS以外の睡眠疾患も含めて)を診療しています。

また、認知症疾患医療センターの指定を国から受けており、静岡県西部における認知症診療の中核施設となっています。PET-CT、3T-MRIによる最先端の認知症診断を行っています。



清水 貴子 総合病院聖隷浜松病院 副院長兼人材育成センター長  
日本神経科学会認定指導医

神経系分野の魅力は、最先端の知識や技術を駆使した診療と、患者さんとの人間対人間としてのおつきあい(いま風の言葉でいえば”パートナーシップ”でしょうか・・・)の両方ができることです。科学性・人間性を担保した医療を、是非堪能してください。



大橋 寿彦 総合病院聖隷浜松病院 脳卒中科部長 日本神経科学会認定指導医

当院は1999年に脳卒中診療センター(現脳卒中センター)が開設され、神経内科と脳神経外科が共同して24時間体制で脳卒中患者の診療にあたっています。年間700名前後の入院があり約6割が脳卒中急性期の入院です。日本脳卒中学会認定研修教育病院です。

日本脳卒中学会認定脳卒中専門医になるためには、当院においてはまず神経内科か脳神経外科に所属してもらい、所属科の研修と平行して脳卒中の研修も行なってもらいます。



**内山 剛** 総合病院聖隷浜松病院 神経内科部長 日本神経科学会認定指導医

若い先生（3～4名）が中心に病棟をきりもりし、看護師や多職種のスタッフも優秀で活気づいています。当科は昔から主治医制をとってはいますが、時間外は拘束医が対応しますので、拘束医になるためのために入院患者全員を把握しておく必要があります。そのかわり拘束以外の夜間や休日は病院のことは忘れて休んでもらいます。「働くときには働く、休むときには休む」をモットーにして実践しています。



**荒井 元美** 総合病院聖隷三方原病院 神経内科部長 日本神経科学会認定指導医

**名倉 博史** 総合病院聖隷三方原病院 院長補佐 日本神経科学会認定指導医

それまでに経験したことのない症状や疾患にも対応できる能力を養うことだと考えている方に来て欲しいと思います。



**床並 房雄** 浜松労災病院 神経内科部長 日本神経科学会認定指導医

高齢化社会となりつつある現代、様々な神経疾患の増加とともに、専門性を要する診療が求められてきました。神経内科の分野でも、研究が進み、新しい治療も開発されてきました。神経内科医のニーズはますます増えています。プログラムでは、マンツーマンの指導を軸として、各診療科と連携しながら研修を行います。診療科としましては、患者さんの十分な理解と了承の下、適切な医療をすすめるとともに、社会的ニーズにも十分に答えられるように取組みたいと思います。



**宮嶋 裕明** 浜松医科大学医学部附属病院 神経内科教授 日本神経科学会認定指導医

**河野 智** 浜松医科大学医学部附属病院 神経内科助教授 日本神経科学会認定指導医

**白川 健太郎** 浜松医科大学医学部附属病院 神経内科医員 日本神経科学会認定指導医

県内の神経内科専門施設が連携を密にして若い人材を育てようという本プログラムは、増加する認知症、脳血管障害などを治療、ケアする優秀な医療スタッフの育成には最適なシステムです。特に当施設では、多彩な神経疾患を経験することができるほか、神経系に関わる多くの臨床科にコンサルテーションが可能です。また、PETなどの最新機器を使用できるだけでなく、それぞれの専門家が揃っており、症例研究から基礎的な最先端研究までの指導体制が整備されています。研修医の皆さんの積極的な参加を期待しています。



宮嶋 裕明

## 9 プログラム運営委員会

### ○ プログラムの管理

プログラム責任者 静岡県立総合病院神経センター長、主任医長 原田 清

電話 054-247-6111 E-Mail [kiyoshi-harada@i.shizuoka-pho.jp](mailto:kiyoshi-harada@i.shizuoka-pho.jp)

### ○ 各研修施設への連絡

研修施設	連絡先 (E-Mail)
静岡てんかん・神経医療センター	<a href="mailto:sien@szec.hosp.go.jp">sien@szec.hosp.go.jp</a>
静岡市立清水病院	<a href="mailto:smz-hsp-soumu@city.shizuoka.lg.jp">smz-hsp-soumu@city.shizuoka.lg.jp</a>
静岡赤十字病院	<a href="mailto:kobarim@shizuoka-med.jrc.or.jp">kobarim@shizuoka-med.jrc.or.jp</a>
静岡済生会総合病院	<a href="mailto:jinji@sia.saiseikai.or.jp">jinji@sia.saiseikai.or.jp</a>
焼津市立総合病院	<a href="mailto:ikyoku@hospital.yaizu.shizuoka.jp">ikyoku@hospital.yaizu.shizuoka.jp</a>
藤枝市立総合病院	<a href="mailto:kanri@hospital.fujieda.shizuoka.jp">kanri@hospital.fujieda.shizuoka.jp</a>
中東遠総合医療センター	<a href="mailto:kanrika@chutoen-hp.shizuoka.jp">kanrika@chutoen-hp.shizuoka.jp</a>
総合病院聖隷浜松病院	<a href="mailto:hm-kenshu@sis.seirei.or.jp">hm-kenshu@sis.seirei.or.jp</a>
総合病院聖隷三方原病院	<a href="mailto:mk-kensyu@sis.seirei.or.jp">mk-kensyu@sis.seirei.or.jp</a>
浜松労災病院	<a href="mailto:soumuka@hamamatsuh.rofuku.go.jp">soumuka@hamamatsuh.rofuku.go.jp</a>
浜松医科大学医学部附属病院	<a href="mailto:miyajima@hama-med.ac.jp">miyajima@hama-med.ac.jp</a>